



©沖縄タイムス

発行：沖縄タイムス社読者局
〒900-8678 那覇市久茂地 2-2-2

働く楽しさを体験



名護の魅力発見



ジヨブたん

名護さくら保育園のブースで形を覚えるための教具を体験する参加者＝17日、名護市民会館

グッジョブ☆なご わくわくワーク

名護さくら保育園は教具を体験するブースを出した。山本宏和園長は「子どもたちに遊びの中でいろんな感覚（目や鼻や耳や口、味）や手を使って遊んでほしい。たくさん子どもに会えるのが園長になってよかったことです」と話していた。（取材・長田みなみ、写真撮影・譜久原さくら、銘苺小巴）

ビーチグラスでストラップをつくった諸喜田美空さん（今帰仁小学校5年）は「かたんに作れて面白かった。ラッピングまでして、きれいにできた」と話した。

お母さんの髪にカールを巻いてみたりした仲宗根真帆さん（天底小学校5年）は「初めてやって完ぺきではないけど、自分ではうまくできたと思う」と話した。

名護警察署の「鑑識（かんしき）のおしごと体験」をした大城朝海さん（名護小学校3年）は「初めて自分の指紋を見た。自分の指紋がどんなものかが分かった。将来の夢は海上保安官」とうれしそうに話した。

沖縄銀行名護支店のブースで「100万円をかぞえてみよう」体験をした市川あおいさん（名護小学校2年）は「お金を教えてみたかった。いっぱいお金を教えられてよかった。将来はお医者さんになりたい」と笑顔で話した。

仕事について学ぶ「グッジョブ☆なご わくわくワーク」（主催・名護市グッジョブ連携協議会）が17日、名護市民会館中ホールで開かれた。市内の親子168人（午前11時現在）が地元のさまざまな「しごと」を体験し、働くことの楽しさ、大切さを学んだ。

この速報はワラビーGO! でつくりました。

沖縄タイムス 購読の申し込みは
フリーダイヤル 0120-21-9674